

防音樹について

【ご意見】

市内小島団地のしなの鉄道沿いにある、防音樹の扱いについて、お伺いします。

しなの鉄道と市道の境界に花壇があり、防音樹が長さ約300m、本数約200本が植樹されていますが、団地住民からの要望で、防音樹を根こそぎ撤去して更地にするようで、大変驚いています。（団地住民で剪定していたが、樹木が高くなり、又、住民が高齢化し、剪定等出来なくなったとの事）

市は2020年2月25日に地球温暖化防止に向け、千曲市気候非常事態宣言を公開宣言されていますね。植樹作業や里山保全活動による森林の適正管理等、温暖化対策に取り組むとなっています。

市の財産所有物を根こそぎ撤去し更地にしては、気候非常事態宣言は絵に書いた餅ですか？市の樹木であり、定期的に剪定、伐採等をして維持管理するべきでしょう。

現在のままでは、荒天、強風等で鉄道、市道へ倒木するようで大変危険です。早急な対応をお願いします。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答：建設課】

防音樹の伐採については、地元小島区から地域要望書（小島団地全戸の皆様の同意書）として伐採の要望が出されており、また、市といたしましてもしなの鉄道線の高圧線や市道を通行する車、人等への倒木の危険性が高いことから今回伐採することとしました。

伐採後については、鉄道敷に隣接していることから剪定等の維持管理も危険を伴うことと、地元小島区からの要望もあることから新たな植樹については行いませんのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、今後も公園等公共施設の緑化や、里山整備、街路灯のLED化など地球温暖化防止に向けた取り組みを推進してまいります。